

**令和7年度  
第2回金沢市交通まちづくり協議会**

**令和8年3月2日  
金沢市交通政策課**

日時:令和8年3月2日(月)14時00分～16時00分

場所:金沢市役所第一本庁舎 7階 全員協議会室

## 1. 開会

## 2. 挨拶

## 3. 議題

### (1)報告事項

報告第1号 令和7年度事業報告

報告第2号 令和7年度収支決算見込

報告第3号 令和8年度の金沢市の取組について(骨格予算) 【資料2】

【資料1】

### (2)審議事項

議案第1号 令和8年度事業計画

議案第2号 令和8年度収支予算(案)

議案第3号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画(公共交通サービス高度化)の変更について 【資料4】

議案第4号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画(地域運営交通)の変更について 【資料5】

【資料3】

## 4. 閉会

# 【資料1】

## 報告第1号

### 令和7年度事業報告

## 1. 地域公共交通確保維持改善事業

### 地域公共交通バリア解消促進等事業（バリアフリー化設備等整備事業）

#### ＜福祉タクシー導入＞ 計35台

- ・リフト付タクシー車両：合同会社シースリー . . . 1台
- ・スロープ付タクシー車両：北陸さくら交通株式会社 . . . 2台
- ・ユニバーサルデザインタクシー1級：株式会社 富士タクシー . . . 5台  
石川近鉄タクシー株式会社 . . . 1台
- ・ユニバーサルデザインタクシー準1級：平和タクシー 株式会社 . . . 5台  
石川交通株式会社 . . . 5台  
株式会社オリエンタル . . . 5台  
金沢第一交通株式会社 . . . 4台  
石川近鉄タクシー株式会社 . . . 1台
- ・ジャンボタクシー車両：株式会社富士タクシー . . . 6台

#### ＜バス停上屋整備＞

- ・北陸鉄道株式会社 「笠舞一丁目」バス停

### 交通サービスインバウンド対応支援事業

#### ＜ノンステップバス導入＞ 計17台

- ・大型バス車両：北陸鉄道株式会社 . . . 11台  
北鉄金沢バス株式会社 . . . 6台

## 2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

### ①金沢交通コンシェルジュの運営（金沢駅東広場交通案内所）

金沢駅東広場の案内所で交通案内や観光客等の問い合わせに対応する交通コンシェルジュを配置

開設時間：9：00～17：00（うち1時間休憩）

休日：年中無休

人員：1人

【参考：案内件数実績】

	R7年度 (R8.1月末)	R6年度 (R7.1月末)
案内件数	51,684	55,243
(うち外国人)	14,504	14,008

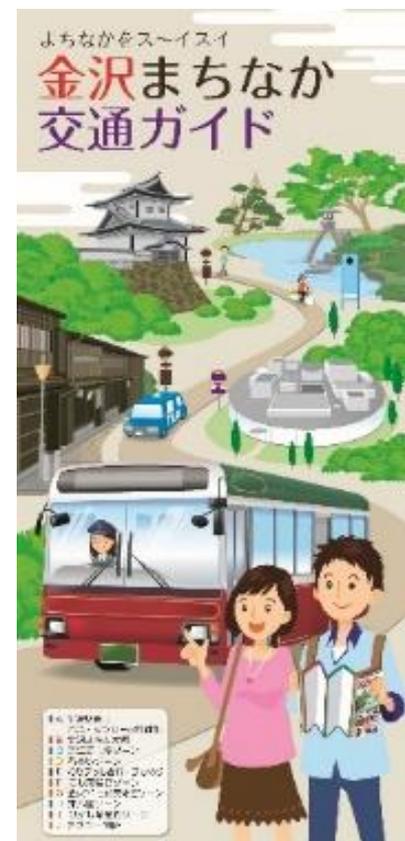


## 2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

### ②金沢まちなか交通ガイドの作成

従来通りの紙媒体での印刷に加え、より便利で使いやすくするため、R6年度に金沢MaaS推進事業でデジタル化を実施し、印刷費を削減

言語	R7年度印刷部数	R6年度印刷部数
日本語	7,940	11,340
英語	9,556	11,340
中国語(繁体字)	5,040	6,300
中国語(簡体字)	1,440	1,800
韓国語	1,440	1,800
フランス語	2,160	2,700
スペイン語	2,160	2,700
イタリア語	720	900



## 2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

### ③カーフリーデー2025in金沢の開催

マイカーを使わない公共交通優先の社会形成を周知するイベントを開催

日時：令和7年10月4日(土)10:00～15:00

場所：市庁舎前広場

内容

バス、ユニバーサルデザインタクシーの展示

バス運転士体験、公共交通利用促進貢献者表彰

交通事業者の事業紹介、グッズ販売

自転車ルール・マナー啓発、保険加入促進

ミニSL乗車会、公共交通利用促進PR大使ミニライブ

キッチンカー、移動図書館、モルック体験 ほか

※来場者数：約2,500人 (参考)令和6年度：約3,000人



～公共交通利用促進貢献者表彰～



～自転車用ヘルメット販売～



～ミニSL乗車会～

# 報告第2号

## 令和7年度収支決算見込

# 報告第2号 令和7年度収支決算見込

## 歳入の部

(単位：円)

款	項	目	項目	現計予算額	決算額	差引	備考
1	1	1	負担金				
			交通事業者	1,441,000	1,441,000	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通コンシェルジュ運営費 1,100,000</li> <li>&lt;内訳&gt;</li> <li>北陸鉄道 453,000</li> <li>西日本ジェイアールバス 223,000</li> <li>JR西日本 106,000</li> <li>IRいしかわ鉄道 106,000</li> <li>金沢駅構内タクシー会 106,000</li> <li>バス停留所連絡協議会 106,000</li> <li>・まちなか交通ガイド（日本語版）作成費 341,000</li> <li>&lt;内訳&gt;</li> <li>北陸鉄道 226,000</li> <li>西日本ジェイアールバス 39,000</li> <li>金沢駅構内タクシー会 76,000</li> </ul>
			市	11,750,000	11,750,000	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通コンシェルジュ運営費 5,800,000</li> <li>・まちなか交通ガイド（日本語版、外国語版）作成費 3,800,000</li> <li>・カーフリーデー2025in金沢開催費 2,150,000</li> </ul>
2	1	1	補助金				
			国	0	2,262,000	2,262,000	・地域運営交通（チョイソコ） 2,262,000
合 計				13,191,000	15,453,000	2,262,000	

# 報告第2号 令和7年度収支決算見込

## 歳出の部

(単位：円)

款	項	目	項目	現計予算額	決算額	差引	備考
2	1	1	事業費				
			交通コンシェルジュ運営費	6,900,000	6,900,000	0	
			まちなか交通ガイド作成費	4,141,000	4,141,000	0	
			カーフリーデー2025in金沢開催費	2,150,000	2,150,000	0	
			地域運営交通支援助成金	0	2,262,000	2,262,000	
合 計				13,191,000	15,453,000	2,262,000	

## 【資料2】

### 報告第3号

令和8年度の金沢市の取組について(骨格予算)

# 令和8年度の金沢市の取組等について

1. 新 第4次金沢交通戦略策定費 2,900千円  
現計画のフォローアップや、モビリティハブの拡充等を踏まえた次期交通戦略の策定に着手
2. 改 金沢MaaS推進事業費 2,900千円  
多様な移動手段と他分野のサービスが継ぎ目なく提供される金沢MaaSを推進  
新 交通サービスアプリ「のりまつし金沢」で北陸鉄道バスの1日フリー乗車券と「まちなり」の1日パスをセットで販売
3. 公共交通サービス高度化推進事業費 12,000千円  
まちの拠点性を高め、人の交流を促す公共交通サービス高度化実施計画を実践  
都心軸でのバスレーン社会実験に併せ、新たな荷捌き路線・駐車場の設置を検討
4. 改 連節バス導入環境整備事業費 22,300千円  
路線バスの持続可能性を確保するため、連節バスの導入に向けた道路などの走行環境を整備  
新 金沢駅西口～金沢港クルーズターミナル間  
平和町線  
令和9年度以降実証運行開始（予定）

# 令和8年度の金沢市の取組等について

5. 改 金沢版モビリティハブ整備事業費 3,500千円（最終補正に27,800千円前倒し）

様々な交通手段を組み合わせ利便性の向上を図る交通結節点の機能強化  
に向けた整備を推進

デジタルサイネージ等の整備に対し支援 … 片町（パシオン前）・平和町バス停  
パーク・アンド・ライドの社会実験を実施 … 石川線乙丸駅

## 額乙丸パーク・アンド・ライド社会実験（第2期）

北陸鉄道石川線・乙丸駅（額乙丸町）にてパーク・アンド・ライドの社会実験を実施し、  
モビリティハブの追加候補地としての可能性を検証

実証期間：令和8年6月～令和9年2月（予定）

借地面積：約400㎡（概ね10台分）

事業費：2,500千円（借地料、安全柵の設置・撤去、看板の設置・撤去、広報費）

<令和7年度（第1期）からの変更点>

- ・利用対象の要件を変更（居住要件を500m外から300m外に緩和）
- ・買い物や観光等のスポット的な利用でも可能とする駐車マスを一部設定

※国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通再構築調査事業）  
を活用予定

# 令和8年度の金沢市の取組等について

## 6. 北陸鉄道線鉄道事業再構築事業費 315,000千円

北陸鉄道線の再構築に向けて、施設更新や維持管理等を国や県、沿線市町で支援  
鉄道施設等の更新整備に係る負担割合

線路・電路等更新 国1/2、県1/4、市町1/4

車両更新等 国1/2、県1/6、市町1/3

鉄道施設等の維持管理に係る負担割合

線路・電路修繕 県1/3、市町2/3

車両維持等 北陸鉄道と市町で負担

## 7. バス運転士確保支援事業費 3,600千円

路線バスの運転士確保に向けて、交通事業者による就職フェア等への出展を支援

対象者 市内に本社等を有する市内で乗合バスを定期運行する事業者

改（公社）石川県バス協会を追加

補助率 1/2

限度額 県内開催 300千円

県外開催 400千円

# 令和8年度の金沢市の取組等について

## 8. 地域運営交通支援費 41,600千円

郊外部の移動手段を確保するため、住民主体で運営するバス等の運行を支援  
本格運行に係る経費と収入の差額に対し助成

補助率 世帯数に応じて6/10～8/10

(重点区域加算)

バス路線の便数が少ない地区におけるバス等の運行に対し、補助率を1/10加算

公共交通重要路線に接続するバス等の運行に対し、補助率を1/10加算

## 9. モビリティ・マネジメント推進費 2,200千円

第3次金沢交通戦略のめざす「歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり」を  
広く市民に発信

公共交通利用促進啓発イベントの開催

# 令和8年度の金沢市の取組等について

10. 改 大学生モビリティマネジメント事業費 1,500千円  
学生の公共交通利用とまちなかへの来街を促進  
新 バス事業者及び金沢大学の学生と連携し、  
大学周辺における公共交通の利用促進を検討
  
11. 改 第3期「まちなか」運営費 21,400千円  
市民や来街者に便利で利用しやすい公共シェアサイクル「まちなか」を運営  
新 南部エリアで社会実験を実施

# 【資料3】

## 議案第1号

### 令和8年度事業計画

## 1. 地域公共交通確保維持改善事業

### 地域公共交通バリア解消促進等事業（バリアフリー化設備等整備事業）

＜ユニバーサルデザイン型タクシー・福祉タクシー等導入＞

導入については調整中

（国の要望調査状況に合わせ、計画承認について別途お諮りします）

※交通事業者が国へ補助申請する際には、本協議会での計画承認が必要

## 2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

### ①金沢交通コンシェルジュの運営（金沢駅東広場交通案内所）

金沢駅東広場の案内所で交通案内や観光客等の問い合わせに対応する交通コンシェルジュを配置

開設時間：9：00～17：00（うち1時間休憩）

休日：年中無休

人員：1人

## 2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

### ②金沢まちなか交通ガイドの作成

外国人観光客への2次交通案内の充実を図るため、「金沢まちなか交通ガイド」を印刷する。  
外国語6言語については、R6にデジタル化を実施したため紙印刷を廃止。

言語	R 8 年度 印刷部数	R 7 年度 印刷部数
日本語	7,146	7,940
英語	8,600	9,556
中国語(繁体字)	-	5,040
中国語(簡体字)	-	1,440
韓国語	-	1,440
フランス語	-	2,160
スペイン語	-	2,160
イタリア語	-	720



## 2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

### ③カーフリーデー2026in金沢の開催

マイカーを使わない公共交通優先の社会形成を周知するイベントを開催

日時：令和8年10月頃（予定）

場所：市庁舎前広場

内容：交通事業者、市民団体等の出展

交通施策紹介

スタンプラリー

公共交通利用促進PR大使ミニライブ開催 等

※調整により内容が変更となる場合があります

## 3. 第4次金沢交通戦略策定事業

第3次金沢交通戦略の計画期間が令和9年度で終了することから、現計画のフォローアップを行うとともに、次期交通戦略の策定に着手する。（令和8、9年度の2か年で策定）

計画期間：令和10～14年度（5か年）

※策定にあたっては、策定分科会を設置予定

# 議案第2号

## 令和8年度収支予算(案)

# 議案第2号 令和8年度収支予算(案)

## 歳入の部

(単位:円)

款	項	目	項目	予算額	備考	(参考)前年度
1	1	1	負担金			
			交通事業者	1,421,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通コンシェルジュ運営費 1,100,000</li> <li>＜内訳＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>北陸鉄道 453,000</li> <li>西日本ジェイアールバス 223,000</li> <li>JR西日本 106,000</li> <li>IRいしかわ鉄道 106,000</li> <li>金沢駅構内タクシー会 106,000</li> <li>バス停留所連絡協議会 106,000</li> </ul> </li> <li>まちなか交通ガイド(日本語版)作成費 321,000</li> <li>＜内訳＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>北陸鉄道 214,000</li> <li>西日本ジェイアールバス 36,000</li> <li>金沢駅構内タクシー会 71,000</li> </ul> </li> </ul>	1,100,000
			市	11,850,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通コンシェルジュ運営費 5,800,000</li> <li>まちなか交通ガイド(日本語版、外国語版)作成費 1,400,000</li> <li>カーフリーデー2026in金沢開催費 2,150,000</li> <li>第4次金沢交通戦略策定費 2,500,000</li> </ul>	5,800,000
2	1	1	補助金			
			国	2,100,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域運営交通(チョイソコ) 2,100,000</li> </ul>	-
				2,500,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次金沢交通戦略策定費 2,500,000</li> </ul>	-
合 計				17,871,000		13,191,000

# 議案第2号 令和8年度収支予算（案）

## 歳出の部

(単位：円)

款	項	目	項目	予算額	備考	(参考)前年度
2	1	1	事業費		<内訳>	
			交通コンシェルジュ運営費	6,900,000	交通事業者	1,100,000
					市	5,800,000
			まちなか交通ガイド作成費	1,721,000	<内訳>	
					交通事業者	321,000
					市	1,400,000
			カーフリーデー2026in金沢開催費	2,150,000	市	2,150,000
			地域運営交通支援助成金	2,100,000	市	2,100,000
			第4次金沢交通戦略策定費	5,000,000	<内訳>	
					国	2,500,000
					市	2,500,000
合 計				17,871,000		13,191,000

## 【資料4】

議案第3号

金沢市地域公共交通利便増進実施計画(公共交通サービス高度化)の変更について

-金沢版モビリティハブの整備、連節バスの導入の事業内容の変更-

# 1 金沢市地域公共交通利便増進実施計画（公共交通サービス高度化）の変更

## 概要

第3次金沢交通戦略に掲げる「歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり」の実現に向け、国庫補助（社会資本整備総合交付金）を最大限に活用し各種取組を推進するため、金沢市地域公共交通利便増進実施計画（公共交通サービス高度化）を変更する。

当該計画に記載のある事業のうち2事業の内容の変更を行うほか、運賃改定に伴う共通乗車船券の修正や第3次金沢交通戦略の一部修正に伴う計画引用部分の修正を行う。

## 変更内容

### (1) 主な変更（詳細は次ページ参照）

- ・ 金沢版モビリティハブの整備（整備地の追加）
- ・ 連節バスの導入（運行路線の追加）

### (2) その他修正

- ・ 共通乗車船券の発売金額を修正

北陸鉄道石川線と路線バスの乗継切符について、路線バスの運賃改定により販売金額が変更となったため、計画を修正する。

- ・ 第3次金沢交通戦略からの引用部分の修正

第3次金沢交通戦略の公共交通の利用者数の目標値が修正となったため、引用部分を修正する。（※利用者数の修正は第1回協議会にて報告済）

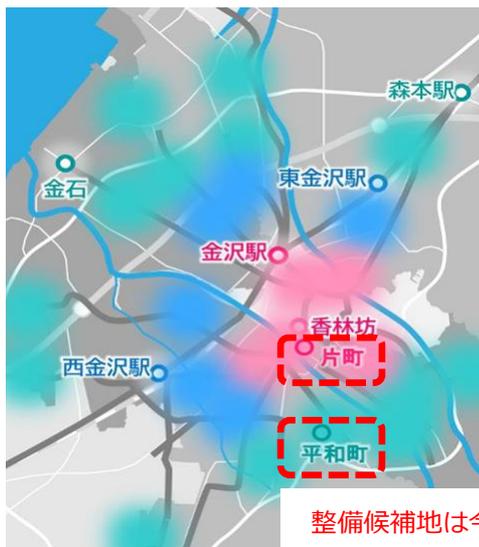
## 2 変更内容

### 当該計画の事業概要（変更となるもののみ）

#### 金沢版モビリティハブの整備

多様な交通モードの接続点となるモビリティハブの整備により、公共交通の利用環境を向上・強化し、公共交通の利用促進を図る

【都市構造に応じた整備イメージ、各タイプイメージ】



整備候補地は今後、順次公表

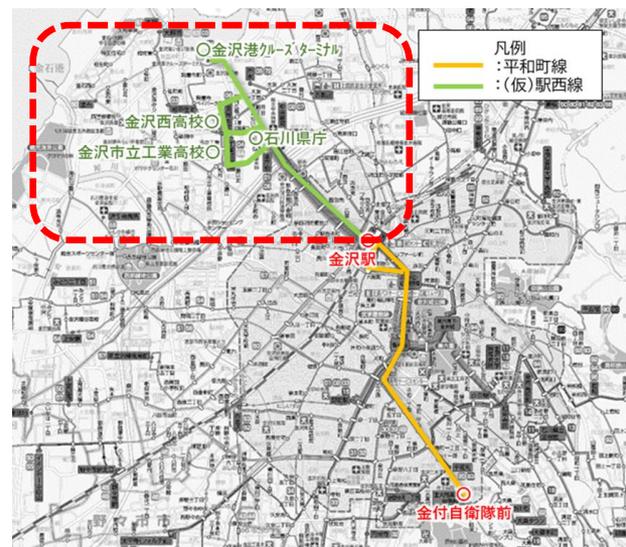
#### 標準的な機能(タイプ別)

まちなか型 <small>駅前まちなか区域内</small>	準郊外型 <small>中環状道路の内側</small>	郊外型 <small>中環状道路の外側</small>
<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺施設とも連携した待合空間 (上屋・シェルター、ベンチ等)</li> <li>まちのレポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上屋・シェルター、ベンチ等</li> <li>まちのレポート</li> <li>パーク・アンド・ライド駐車場 (Kパーク、公設駐車場等)</li> <li>駐輪場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上屋・シェルター、ベンチ等</li> <li>パーク・アンド・ライド駐車場 (Kパーク、公設駐車場等)</li> <li>駐輪場</li> </ul>

#### 連節バスの導入

まちの新たなシンボルとなる連節バスの導入により、輸送力の確保や公共交通の利用者増加を図る

【連節バス導入路線】



【連節バス車両イメージ】

※車種等は検討中



出典：神戸市・神姫バス



出典：連節バス走行実験 (令和元年)

# 参考 金沢版モビリティハブについて

- 鉄道・路線バス等と、公共シェアサイクル「まちなり」、地域運営交通、自転車、自家用車等の**様々な交通モードを組み合わせた移動の利便性向上のため**、市内の**交通結節点を機能強化し「金沢版モビリティハブ」として整備**。
- モビリティハブは、周辺施設と連携した待合空間の整備・Kパークの活用なども視野に入れつつ、**地域の実情に応じ**、**①まちなか型**、**②準郊外型**、**③郊外型**とし、市内各エリアの公共交通重要路線沿線に、合計20箇所程度整備することを旨とし、**令和7年度は香林坊、金石、IRいしかわ鉄道の3駅（西金沢駅、東金沢駅、森本駅）を整備し、令和8年度は片町、平和町の整備を実施予定**。

## 第3次金沢交通戦略が目指す姿



周辺施設と連携した待合空間の整備・Kパークの活用なども検討

## モビリティハブの整備候補エリア



## 実施する取組

### ① 情報提供強化

- 共通案内サイン
- デジタルサイネージ
- 路線図・時刻表
- 周辺地図

### ② 乗継円滑化

- 駅・バス停・タクシー乗り場・まちなりレポート・駐輪場・駐車場等の相互の乗継案内



共通案内サイン・デジタルサイネージのイメージ

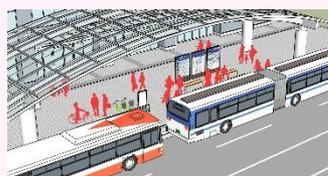
### ③ 待合環境強化

- 周辺施設等とも連携した待合空間の拡充

## 標準的な機能(タイプ別)

### まちなか型

概ねまちなか区域内



- 周辺施設とも連携した待合空間 (上屋・シェルター、ベンチ等)
- まちなりレポート

### 準郊外型

中環状道路の内側



- 上屋・シェルター、ベンチ等
- まちなりレポート
- パーク・アンド・ライド駐車場 (Kパーク、公設駐車場等)
- 駐輪場

### 郊外型

中環状道路の外側



- 上屋・シェルター、ベンチ等
- パーク・アンド・ライド駐車場 (Kパーク、公設駐車場等)
- 駐輪場

# 参考 金沢版モビリティハブ 令和7年度整備内容

## 香林坊(アトリオ前)

デジタルサイネージ(屋外3基、屋内1基)の設置



## 金石

上屋整備、デジタルサイネージ(屋内1基)の設置、パーク・アンド・ライド駐車場の整備



## IR森本駅、東金沢駅、西金沢駅

多様な交通手段への円滑な乗換のために周辺案内表示を設置



いずれも令和8年2月27日(金)より運用を開始

# 参考 連節バスの導入

- 全国的なバス運転士不足の中で、路線バスの持続可能性強化の必要性が高まっており、**運転士1人当たりの輸送力を高め**、また、**わかりやすく乗ってみたいくなる移動手段とする**ため、金沢市内での**連節バスの導入を進める**。
- 市内の道路環境で**連節バスの安全運行が可能かを見極める**ため、過去の走行実験の結果も踏まえ、令和7～8年度に**運行予定路線（下図参照）**において走行環境を整備・令和9年度以降に市内路線での**営業運行に連節バスを導入して実証運行を行い**、**その上で市内各方面での本格運行に向けた課題を検証する**。

## 第3次金沢交通戦略が目指す姿



## バス運転士不足の状況



出典：北陸鉄道

## 輸送力の比較

通常のバス：約80人  
約1.5倍

連節バス：約120人

〔※ カタログデータに基づく数値〕

## 連節バス車両のイメージ



出典：神戸市・神姫バス



出典：川崎鶴見臨港バス

## 過去の連節バス運行実験の様子



出典：連節バス走行実験(令和元年)



出典：金沢都心軸幹線バス(シティライナー) 利用推進プロジェクト(平成16年)

## 運行予定路線



※ 連節バスの運行に向け、必要に応じて道路環境の改良を行う。

※ 実証運行の内容は、関係者協議により変更となる場合がある

### 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

変更(案)	現行
<p data-bbox="241 506 724 599">金沢市地域公共交通利便増進実施計画 (公共交通サービス高度化)</p> <p data-bbox="396 1006 569 1142">令和6年9月 令和8年3月変更 (申請者) 金沢市</p> <p data-bbox="473 1256 492 1285">1</p>	<p data-bbox="1168 506 1690 599">金沢市地域公共交通利便増進実施計画 (公共交通サービス高度化)</p> <p data-bbox="1342 1006 1516 1142">令和6年9月 令和7年3月変更 (申請者) 金沢市</p> <p data-bbox="1420 1256 1439 1285">1</p>

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 変更(案)

### (1) 共通乗車船券の発行（北陸鉄道鉄道線と市内路線バスの連携）

指定する石川線各駅～野町駅までの電車、野町駅～金沢駅までの路線バス（城下まち金沢周遊バス除く）が利用開始から8時間乗り放題になる乗車券を発行する。（指定区内であれば、利用の発地・着地は任意）

発売期間	令和7年4月～
利用	ご利用当日の始発便から最終便の間で利用開始してから8時間
区間	北陸鉄道石川線 鶴来～西泉間の各駅から野町駅經由 北陸鉄道グループバス 野町駅～金沢駅または金沢駅西口間の各駅・バス停相互間が乗り放題
発売金額	510円～760円（小児260円～380円） ※デジタルチケットで発売、割引金額は最大5割引 ※令和8年2月変更
有効期限	購入日を含めて4日間

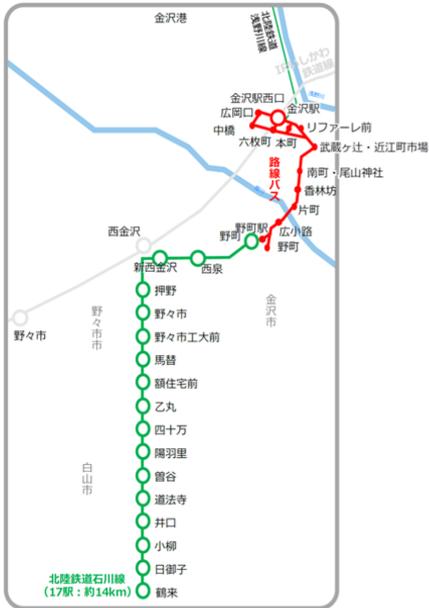


図 通用区間（上記記載の駅・バス停相互間が8時間乗り放題）

7

## 現行

### (1) 共通乗車船券の発行（北陸鉄道鉄道線と市内路線バスの連携）

指定する石川線各駅～野町駅までの電車、野町駅～金沢駅までの路線バス（城下まち金沢周遊バス除く）が利用開始から8時間乗り放題になる乗車券を発行する。（指定区内であれば、利用の発地・着地は任意）

発売期間	令和7年4月～
利用	ご利用当日の始発便から最終便の間で利用開始してから8時間
区間	北陸鉄道石川線 鶴来～西泉間の各駅から野町駅經由 北陸鉄道グループバス 野町駅～金沢駅または金沢駅西口間の各駅・バス停相互間が乗り放題
発売金額	500円～750円（小児260円～380円） ※デジタルチケットで発売、割引金額は最大5割引
有効期限	購入日を含めて4日間

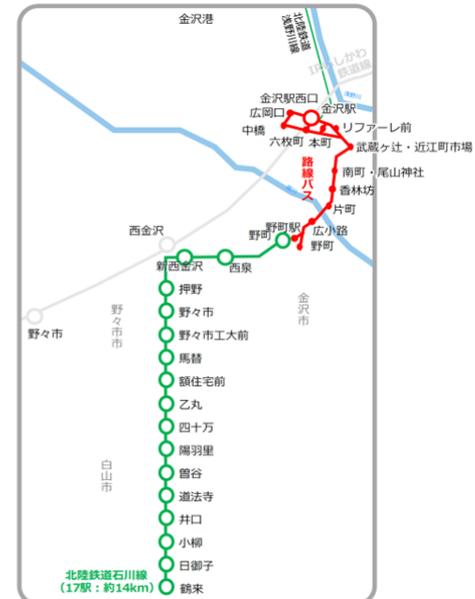


図 通用区間（上記記載の駅・バス停相互間が8時間乗り放題）

7

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 変更(案)

表 各駅からの発売額（5割引きの価格）

区間	発売金額	参考：割引前の往復運賃（各駅～金沢駅までの往復鉄道・バス運賃の合計）
鶴来駅～金沢駅	760円(小児 380円)	1520円(小児760円)
日御子駅～金沢駅	760円(小児 380円)	1520円(小児760円)
小柳駅～金沢駅	760円(小児 380円)	1440円(小児720円)
井口駅～金沢駅	760円(小児 380円)	1440円(小児720円)
道法寺駅～金沢駅	760円(小児 380円)	1360円(小児680円)
曾谷駅～金沢駅	760円(小児 380円)	1360円(小児680円)
陽羽里駅～金沢駅	760円(小児 380円)	1360円(小児680円)
四十万駅～金沢駅	660円(小児 330円)	1320円(小児660円)
乙丸駅～金沢駅	660円(小児 330円)	1240円(小児620円)
額住宅前駅～金沢駅	660円(小児 330円)	1240円(小児620円)
馬替駅～金沢駅	660円(小児 330円)	1080円(小児540円)
野々市工大前駅～金沢駅	560円(小児 280円)	1060円(小児 540円)
野々市駅～金沢駅	560円(小児 280円)	920円(小児460円)
押野駅～金沢駅	560円(小児 280円)	920円(小児460円)
新西金沢駅～金沢駅	510円(小児 260円)	860円(小児440円)
西泉駅～金沢駅	510円(小児 260円)	840円(小児420円)

## 現行

表 各駅からの発売額（5割引きの価格）

区間	発売金額	参考：割引前の往復運賃（各駅～金沢駅までの往復鉄道・バス運賃の合計）
鶴来駅～金沢駅	750円(小児 380円)	1500円(小児760円)
日御子駅～金沢駅	750円(小児 380円)	1500円(小児760円)
小柳駅～金沢駅	750円(小児 380円)	1420円(小児720円)
井口駅～金沢駅	750円(小児 380円)	1420円(小児720円)
道法寺駅～金沢駅	750円(小児 380円)	1340円(小児680円)
曾谷駅～金沢駅	750円(小児 380円)	1340円(小児680円)
陽羽里駅～金沢駅	750円(小児 380円)	1340円(小児680円)
四十万駅～金沢駅	650円(小児 330円)	1300円(小児660円)
乙丸駅～金沢駅	650円(小児 330円)	1220円(小児620円)
額住宅前駅～金沢駅	650円(小児 330円)	1220円(小児620円)
馬替駅～金沢駅	650円(小児 330円)	1060円(小児540円)
野々市工大前駅～金沢駅	550円(小児 280円)	1040円(小児530円)
野々市駅～金沢駅	550円(小児 280円)	900円(小児460円)
押野駅～金沢駅	550円(小児 280円)	900円(小児460円)
新西金沢駅～金沢駅	500円(小児 260円)	840円(小児440円)
西泉駅～金沢駅	500円(小児 260円)	820円(小児420円)

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 変更(案)

### (2) 金沢版モビリティハブの整備

様々な交通モードを組み合わせた移動の利便性向上のため、市内の交通結節点を機能強化し、「金沢版モビリティハブ」として整備を進めます。

(主な整備内容)

地域の実情に応じて、「まちなか型」、「準郊外型」、「郊外型」とし、情報提供強化、乗継円滑化、待合環境強化の整備を実施

(整備時期)

令和7年4月～

※令和8年4月～ 片町及び平和町の整備(追加)

#### 交通結節点とモビリティハブの定義

交通モード	交通結節点	本市の状況
鉄道	駅(JR・IR)	多様な交通モードが接続・連携するため、これまで積極的に整備
バス、乗用自転車	バス停留所	それぞれの整備を行って来たが、連携強化が必要
タクシー	タクシー・バイク等	金沢版モビリティハブ地域に応じて多様な交通モードを内蔵・接続・連携する形を整備
自転車	パークアンドライド	金沢版モビリティハブ地域に応じて多様な交通モードを内蔵・接続・連携する形を整備

※モビリティハブはバス・タクシー・シェアサイクル・自転車などの多様な交通モードとの接続・連携拠点

#### 標準的な機能(タイプ別)

まちなか型	準郊外型	郊外型
<ul style="list-style-type: none"> <li>※周辺施設とも連携した待合空間(上層・シエルター、ベンチ等)</li> <li>※まちのりポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※上層・シエルター、ベンチ等</li> <li>※まちのりポート</li> <li>※パーク・アンド・ライド駐車場(バイク、自転車専用等)</li> <li>※駐輪場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※上層・シエルター、ベンチ等</li> <li>※パーク・アンド・ライド駐車場(バイク、自転車専用等)</li> <li>※駐輪場</li> </ul>



モビリティハブ整備候補エリア



タイプ別の整備範囲の考え方

## 現行

### (2) 金沢版モビリティハブの整備

様々な交通モードを組み合わせた移動の利便性向上のため、市内の交通結節点を機能強化し、「金沢版モビリティハブ」として整備を進めます。

(主な整備内容)

地域の実情に応じて、「まちなか型」、「準郊外型」、「郊外型」とし、情報提供強化、乗継円滑化、待合環境強化の整備を実施

(整備時期)

令和7年4月～

#### 交通結節点とモビリティハブの定義

交通モード	交通結節点	本市の状況
鉄道	駅(JR・IR)	多様な交通モードが接続・連携するため、これまで積極的に整備
バス、乗用自転車	バス停留所	それぞれの整備を行って来たが、連携強化が必要
タクシー	タクシー・バイク等	金沢版モビリティハブ地域に応じて多様な交通モードを内蔵・接続・連携する形を整備
自転車	パークアンドライド	金沢版モビリティハブ地域に応じて多様な交通モードを内蔵・接続・連携する形を整備

※モビリティハブはバス・タクシー・シェアサイクル・自転車などの多様な交通モードとの接続・連携拠点

#### 標準的な機能(タイプ別)

まちなか型	準郊外型	郊外型
<ul style="list-style-type: none"> <li>※周辺施設とも連携した待合空間(上層・シエルター、ベンチ等)</li> <li>※まちのりポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※上層・シエルター、ベンチ等</li> <li>※まちのりポート</li> <li>※パーク・アンド・ライド駐車場(バイク、自転車専用等)</li> <li>※駐輪場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※上層・シエルター、ベンチ等</li> <li>※パーク・アンド・ライド駐車場(バイク、自転車専用等)</li> <li>※駐輪場</li> </ul>



モビリティハブ整備候補エリア



タイプ別の整備範囲の考え方

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 変更(案)

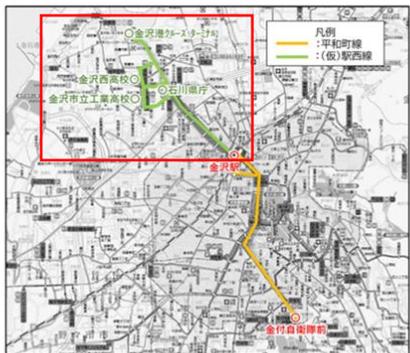
### (5) 連節バスの導入

路線バスの持続可能性を確保するとともに、まちの新たなシンボルとなり、分かりやすく乗ってみたいなる移動手段を整備するため、連節バスを導入します。

なお、走行ルートについては、下図に示すルートとします。

(導入時期)

令和9年中(予定)



連節バス導入路線



出典: 神戸市・神姫バス



出典: 連節バス走行実験(令和元年)

連節バス車両イメージ

※車種等は検討中

## 現行

### (5) 連節バスの導入

路線バスの持続可能性を確保するとともに、まちの新たなシンボルとなり、分かりやすく乗ってみたいなる移動手段を整備するため、連節バスを導入します。

なお、走行ルートについては、下図に示すルートとします。

(導入時期)

令和9年4月(予定)



連節バス導入路線



出典: 神戸市・神姫バス



出典: 連節バス走行実験(令和元年)

連節バス車両イメージ

※車種等は検討中

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 変更(案)

### 5. 事業実施に必要な資金の額・調達方法

事業名	必要な資金の額	調達方法および金額(想定)	実施年度
<b>■共通乗車船券</b>			
石川線-金沢まちなかマル得きっぷ(共通乗車船券の発行)	【令和7年度】 4,000千円 【令和8年度】 4,000千円 【令和9年度】 4,000千円	【令和7年度】 ・北陸鉄道圏 4,000千円 【令和8年度】 ・北陸鉄道圏 4,000千円 【令和9年度】 ・北陸鉄道圏 4,000千円	R7~
<b>■交通結節施設の充実</b>			
金沢版モビリティハブの整備	【令和6年度】 42,900千円 【令和7年度】 41,700千円	【令和6年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 14,300千円 ・金沢市 14,300千円 ・北陸鉄道圏 14,300千円 【令和7年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 13,900千円 ・金沢市 13,900千円 ・北陸鉄道圏 13,900千円	R6~
<b>■バス走行環境の充実</b>			
バスレーンの強化	【令和6年度】 8,000千円 【令和7年度】 10,000千円 【令和8年度】 10,000千円 【令和9年度】 10,000千円	【令和6年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 4,000千円 ・金沢市 4,000千円 【令和7年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 5,000千円 ・金沢市 5,000千円 【令和8年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 5,000千円 ・金沢市 5,000千円	R6~

## 現行

### 5. 事業実施に必要な資金の額・調達方法

事業名	必要な資金の額	調達方法および金額(想定)	実施年度
<b>■共通乗車船券</b>			
石川線-金沢まちなかマル得きっぷ(共通乗車船券の発行)	【令和7年度】 4,000千円 【令和8年度以降】 4,000千円	【令和7年度】 ・北陸鉄道圏 4,000千円 【令和8年度以降】 ・北陸鉄道圏 4,000千円	R7~
<b>■交通結節施設の充実</b>			
金沢版モビリティハブの整備	【令和6年度】 42,900千円	【令和6年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 14,300千円 ・金沢市 14,300千円 ・北陸鉄道圏 14,300千円	R6~
<b>■バス走行環境の充実</b>			
バスレーンの強化	【令和6年度】 8,000千円 【令和7年度以降】 10,000千円	【令和6年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 4,000千円 ・金沢市 4,000千円 【令和7年度以降】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 5,000千円 ・金沢市 5,000千円	R6~

### 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

変更(案)

現行

		【令和9年度】	
		・国交付金	
		(社会資本整備総合交付金)	
		5,000千円	
		・金沢市	5,000千円

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 変更(案)

■その他、地域公共交通の利用を円滑化するための措置				
金沢ふらっとバス EV 化	【令和 6 年度】	72,100 千円	【令和 6 年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 8,400 千円 ・国補助金 (地域公共交通確保維持改善事業費補助金) 22,000 千円 ・金沢市 41,700 千円	R6
連節バスの導入	【令和 6 年度】 【令和 7 年度】 【令和 8 年度】	8,200 千円 8,100 千円 22,300 千円	【令和 6 年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 4,100 千円 ・金沢市 4,100 千円 【令和 7 年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 4,050 千円 ・金沢市 4,050 千円 【令和 8 年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 11,150 千円 ・金沢市 11,150 千円	R6~

注) 本表記載の補助金等の額については、現時点の見込み額であり、記載の通り調達がなされない場合があり得る。

## 現行

■その他、地域公共交通の利用を円滑化するための措置				
金沢ふらっとバス EV 化	【令和 6 年度】	72,100 千円	【令和 6 年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 8,400 千円 ・国補助金 (地域公共交通確保維持改善事業費補助金) 22,000 千円 ・金沢市 41,700 千円	R6
連節バスの導入	【令和 6 年度】 【令和 7 年度以降】	8,200 千円 11,400 千円	【令和 6 年度】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 4,100 千円 ・金沢市 4,100 千円 【令和 7 年度以降】 ・国交付金 (社会資本整備総合交付金) 5,700 千円 ・金沢市 5,700 千円	R6~

注) 本表記載の補助金等の額については、現時点の見込み額であり、記載の通り調達がなされない場合があり得る。

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 変更(案)

前ページの事業を組み合わせることにより、公共交通のサービス水準向上、利用者増加・公共交通利用者の回復を図る。事業の効果は第3次金沢交通戦略における成果指標（アウトカム）等を参考に、下記のとおり新たに指標を設定する。なお、成果指標の目標設定についてはコロナ禍前の数値とした。

### 【本事業の実施による成果指標】

石川線—金沢まちなかマル得きっぷ販売枚数（利用者数）  
現況（R5） 1,648 枚/年 ➡ 目標（R9） 1,750 枚/年

金沢ふらっとバス利用者数  
現況（R5） 1,633 人/日 ➡ 目標（R9） 2,000 人/日以上

金沢ふらっとバス運行に係る公的資金投入額（運行負担金額）  
現況（R5） 103,102 千円 ➡ 目標（R9） 98,000 千円以下  
※運行経費は R5 を基準として算定

金沢ふらっとバス運行に係る収支率  
現況（R5） 37% ➡ 目標（R9） 40%以上

公共交通の利用者数  
現況（R5） 11.1 万人/日 ➡ 目標（R9） 12.8 万人/日以上

公共交通の収支率  
現況（R5） 99% ➡ 目標（R9） 100%以上

公共交通の公的資金投入額  
現況（R5） 4.1 億円/年 ➡ 目標（R9） 平均 2.3 億円/年  
程度を確保

## 現行

前ページの事業を組み合わせることにより、公共交通のサービス水準向上、利用者増加・公共交通利用者の回復を図る。事業の効果は第3次金沢交通戦略における成果指標（アウトカム）等を参考に、下記のとおり新たに指標を設定する。なお、成果指標の目標設定についてはコロナ禍前の数値とした。

### 【本事業の実施による成果指標】

石川線—金沢まちなかマル得きっぷ販売枚数（利用者数）  
現況（R5） 1,648 枚/年 ➡ 目標（R9） 1,750 枚/年

金沢ふらっとバス利用者数  
現況（R5） 1,633 人/日 ➡ 目標（R9） 2,000 人/日以上

金沢ふらっとバス運行に係る公的資金投入額（運行負担金額）  
現況（R5） 103,102 千円 ➡ 目標（R9） 98,000 千円以下  
※運行経費は R5 を基準として算定

金沢ふらっとバス運行に係る収支率  
現況（R5） 37% ➡ 目標（R9） 40%以上

公共交通の利用者数  
現況（R5） 12.3 万人 ➡ 目標（R9） 12.3 万人/日以上

公共交通の収支率  
現況（R5） 99% ➡ 目標（R9） 100%以上

公共交通の公的資金投入額  
現況（R5） 4.1 億円/年 ➡ 目標（R9） 平均 2.3 億円/年  
程度を確保

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 変更(案)

以下参考（第3次金沢交通戦略より）  
【成果指標（アウトカム）】

**公共交通の利用者数<sup>※1</sup>【重要成果指標<sup>※2</sup>】**  
 ■コロナ禍前の利用者数まで回復を目指す  
 現況(R3) 9.0万人/日 → 目標(R9) 12.8万人/日以上  
 → 長期目標(R14) 13.0万人/日以上

**市内の公共交通分担率(平日)<sup>※1</sup>【重要成果指標<sup>※2</sup>】**  
 ■市全体の公共交通の分担率の上昇を目指す  
 現況(H30) 9% → 目標(R9) 9%以上  
 → 長期目標(R14) 10%以上

**まちなかの歩行者・自転車・公共交通分担率(平日)**  
 ■歩行者・自転車・公共交通分担率の上昇を目指す  
 現況(H30) 55% → 目標(R9) 55%以上

**公共交通の収支率<sup>※1</sup>**  
 ■利用を促進し収支率を高め、持続的な運行を目指す  
 (都市圏全体) 現況(R3) 80% → 目標(R9) 100%以上  
 (ふらっとバス) 現況(R3) 29% → 目標(R9) 40%以上

【観測指標（アウトプット）】

**公共交通平均所要時間(有松→武蔵区間)**  
 ■現況値:16分 →短縮を目指す

**路線バス等への環境配慮車両の導入台数**  
 ■現況値:0台 →増加を目指す

## 現行

以下参考（第3次金沢交通戦略より）  
【成果指標（アウトカム）】

**公共交通の利用者数<sup>※1</sup>【重要成果指標<sup>※2</sup>】**  
 ■コロナ禍前の利用者数まで回復を目指す  
 現況(R3) 8.6万人/日 → 目標(R9) 12.3万人/日以上  
 → 長期目標(R14) 13.0万人/日以上

**市内の公共交通分担率(平日)<sup>※1</sup>【重要成果指標<sup>※2</sup>】**  
 ■市全体の公共交通の分担率の上昇を目指す  
 現況(H30) 9% → 目標(R9) 9%以上  
 → 長期目標(R14) 10%以上

**まちなかの歩行者・自転車・公共交通分担率(平日)**  
 ■歩行者・自転車・公共交通分担率の上昇を目指す  
 現況(H30) 55% → 目標(R9) 55%以上

**公共交通の収支率<sup>※1</sup>**  
 ■利用を促進し収支率を高め、持続的な運行を目指す  
 (都市圏全体) 現況(R3) 80% → 目標(R9) 100%以上  
 (ふらっとバス) 現況(R3) 29% → 目標(R9) 40%以上

【観測指標（アウトプット）】

**公共交通平均所要時間(有松→武蔵区間)**  
 ■現況値:16分 →短縮を目指す

**路線バス等への環境配慮車両の導入台数**  
 ■現況値:0台 →増加を目指す

## 【資料5】

### 議案第4号

金沢市地域公共交通利便増進実施計画(地域運営交通)の変更について

-地域運営交通 チョイソコかなざわ運行内容変更に必要な手続き-

# 1 金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更

## 概要

令和5年4月から本格運行をする地域運営交通「チョイソコかなざわ」について、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用しており、運行計画の変更に伴い、金沢市地域公共交通利便増進実施計画を変更する。

今回の変更内容は、町会連合会の要望により2つの停留所を追加する。  
また、第3次金沢交通戦略の一部修正に伴う、本計画引用部分の修正を行う。

## 変更内容

### (1) 停留所追加2件（259箇所⇒261箇所）（令和8年4月～）

	区分	停留所名	住所	停留所区分	利用可能地区
①	新規追加	医王朝市みちづれ	二俣町き5	目的地停留所	医王山
②	新規追加	三谷の里ときわ苑	高坂町ト1	住宅地停留所	三谷

### (2) 第3次金沢交通戦略における計画引用部分の修正

第3次金沢交通戦略の公共交通の利用者数の目標が変更となったため、本計画が引用する部分を修正する。（P45参照）

## 2 追加となる停留所

### (1)位置図及び現地写真

#### ①医王朝市 みちづれ

南砺市方面



#### ②三谷の里ときわ苑



## 2 追加となる停留所

### (2) 「医王朝市みちづれ」設置による利便性向上について

#### 概要

医王山地区は田上方面へのアクセスを希望する声が以前よりあった。地域で運営する「医王朝市みちづれ」への停留所を設置することで、地域の買い物需要に応えるとともに、隣接する加越能バス二俣停留所へ乗継ぎができるようにすることで、田上方面への利便性向上を図る。

#### 利用イメージ

ご自宅から二俣バス停までチョイソコを利用し、路線バスに乗継ぎ、田上方面などへ向かう。



※チョイソコの運行時間は、平日8:00～15:00のため、下記赤囲みの路線バスの利用が可能

#### 【加越能バス 南砺～金沢線バスダイヤ】

ぬく森の郷	6:58	7:43	10:33	14:53	16:03	17:03
二俣	7:06	7:51	10:41	15:01	16:11	17:11
金沢大学中央	7:13	7:58	10:48	15:08	16:18	17:18
若松	7:16	8:01	10:51	15:11	16:21	17:21
金沢星稜大学前	7:23	8:08	10:58	15:18	16:28	17:28
金沢駅西口	7:40	8:25	11:15	15:35	16:45	17:45

金沢駅西口	8:20	9:20	12:10	16:00	18:30	19:30
金沢星稜大学前	8:31	9:31	12:21	16:11	18:41	19:41
若松	8:40	9:40	12:30	16:20	18:50	19:50
金沢大学中央	8:43	9:43	12:33	16:23	18:53	19:53
二俣	8:50	9:50	12:40	16:30	19:00	20:00
ぬく森の郷	8:58	9:58	12:48	16:38	19:08	20:08



### 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

変更(案)

現行

金沢市地域公共交通利便増進実施計画

金沢市地域公共交通利便増進実施計画

令和5年3月策定  
(令和8年4月変更)  
金沢市

令和5年3月策定  
(令和7年6月変更)  
金沢市

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 2. 事業の内容・実施主体

本計画において定める利便増進事業については、令和4年7月の西日本JRバスの路線減便・一部廃止、令和5年4月の北陸鉄道バスの路線一部廃止を受け、第3次金沢交通戦略に基づき、森本駅・東金沢駅や春日町バス停などを乗継拠点とし、当該路線のうち需要の少ないエリアをデマンド交通により代替することで、これまでの定時定路線運行では満たすことのできなかったきめ細やかな移動ニーズも含めて対応し、利便性の高い地域旅客運送サービスの提供を図る。

### ■事業概要

事業内容	北部6地区における地域運営交通「チョイソコかなざわ」の導入
事業主体	湖南地区町会連合会、薬師谷地区町会連合会、三谷地区町会連合会、花園地区町会連合会、医王山地区町会連合会、夕日寺校下町会連合会
運営主体	次世代型交通システム推進協議会
運行事業者	金城交通株式会社、株式会社富士タクシー
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業
運行の態様	区域運行
実施区域	北部6地区（湖南、薬師谷、三谷、花園、医王山、夕日寺の町会連合会の区域） ※対象路線概要図のとおり ※花園地区（旭日除く）は令和5年7月から実施（運行開始）予定
停留所数	261箇所
運行日時	月曜から金曜、8時から15時まで ただし、土曜、日曜、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く
運賃	【共通】 湖南地区及び薬師谷地区の住民が利用する場合：1乗車当たり300円 三谷地区、花園地区、夕日寺校下（5町会※）及び医王山地区の住民が利用する場合：1乗車当たり400円 非会員が会員に同行し同乗する場合：会員と同額の運賃 【定期（令和5年7月運用開始予定）】 湖南地区及び薬師谷地区の住民が利用する場合： 1 箇月定期券 4,000円、3 箇月定期券 11,000円 三谷地区、花園地区、夕日寺校下（5町会※）及び医王山地区の住民が利用する場合： 1 箇月定期券 5,000円、3 箇月定期券 14,000円 ※夕日寺町会、伝燈寺町会、牧町会、小二又町会及び釣部町会
運行車両	ジャンボタクシー5台（乗車定員（運転席・助手席除く）8名） 小型タクシー1台（乗車定員（運転席除く）4名）
その他	・地域間幹線系統 津幡線（本津幡駅-八幡-兼六園下）と森本駅、春日町で接続 ・令和4年7月から令和5年3月まで実証運行

## 2. 事業の内容・実施主体

本計画において定める利便増進事業については、令和4年7月の西日本JRバスの路線減便・一部廃止、令和5年4月の北陸鉄道バスの路線一部廃止を受け、第3次金沢交通戦略に基づき、森本駅・東金沢駅や春日町バス停などを乗継拠点とし、当該路線のうち需要の少ないエリアをデマンド交通により代替することで、これまでの定時定路線運行では満たすことのできなかったきめ細やかな移動ニーズも含めて対応し、利便性の高い地域旅客運送サービスの提供を図る。

### ■事業概要

事業内容	北部6地区における地域運営交通「チョイソコかなざわ」の導入
事業主体	湖南地区町会連合会、薬師谷地区町会連合会、三谷地区町会連合会、花園地区町会連合会、医王山地区町会連合会、夕日寺校下町会連合会
運営主体	次世代型交通システム推進協議会
運行事業者	金城交通株式会社、株式会社富士タクシー
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業
運行の態様	区域運行
実施区域	北部6地区（湖南、薬師谷、三谷、花園、医王山、夕日寺の町会連合会の区域） ※対象路線概要図のとおり ※花園地区（旭日除く）は令和5年7月から実施（運行開始）予定
停留所数	259箇所
運行日時	月曜から金曜、8時から15時まで ただし、土曜、日曜、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く
運賃	【共通】 湖南地区及び薬師谷地区の住民が利用する場合：1乗車当たり300円 三谷地区、花園地区、夕日寺校下（5町会※）及び医王山地区の住民が利用する場合：1乗車当たり400円 非会員が会員に同行し同乗する場合：会員と同額の運賃 【定期（令和5年7月運用開始予定）】 湖南地区及び薬師谷地区の住民が利用する場合： 1 箇月定期券 4,000円、3 箇月定期券 11,000円 三谷地区、花園地区、夕日寺校下（5町会※）及び医王山地区の住民が利用する場合： 1 箇月定期券 5,000円、3 箇月定期券 14,000円 ※夕日寺町会、伝燈寺町会、牧町会、小二又町会及び釣部町会
運行車両	ジャンボタクシー5台（乗車定員（運転席・助手席除く）8名） 小型タクシー1台（乗車定員（運転席除く）4名）
その他	・地域間幹線系統 津幡線（本津幡駅-八幡-兼六園下）と森本駅、春日町で接続 ・令和4年7月から令和5年3月まで実証運行

# 3 金沢市公共交通利便増進実施計画 新旧対照表

## 6. 事業の効果

### (1) 利便増進事業の実施による効果

利便増進事業の実施による効果を整理する。

項目	事業の効果
北部6地区 地域運営交通 「チョイソコかなざわ」の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>西日本JRバスの路線減便・一部廃止及び北陸鉄道バスの路線一部廃止で生じた交通空白地域の解消、移動の選択肢の向上〔西日本JRバスの路線廃止及び北陸鉄道バスの路線廃止後の各地区の公共交通の状況〕</li> <li>湖南：1路線、薬師谷：2路線、三谷：0路線、花園：1路線、医王山：1路線、夕日寺：1路線</li> <li>地域内や近接する公共交通重要路線と接続する移動しやすい公共交通ネットワークの充実</li> <li>住民の外出機会を創出し、元気で健康な地域づくりを支援</li> </ul>

### (2) 第3次金沢交通戦略の目標に対する利便増進事業の位置づけ

北部6地区における地域運営交通の導入に関する利便増進事業の実施により、利用者の利便性等が向上し、以下の第3次金沢交通戦略に掲げる成果指標の達成にも寄与する。

#### ①公共交通の利用者数

目標値：コロナ禍前の利用者まで回復を目指す

現況(R3)	目標(R9)	長期目標(R14)
90,087人/日	128,000人/日以上	130,000人/日以上

出典：交通事業者提供データ及び金沢市保有データ

※市内を運行するJR北陸本線・IRいしかわ鉄道線・北陸鉄道線(市内の駅)、路線バス(北陸鉄道路線バス、城下まち金沢周遊バス、西日本JRバス)、ふらっとバス、地域運営交通の利用者数

#### ②市内の公共交通分担率(平日)

目標値：市全体の公共交通の分担率の上昇を目指す

現況(H30)	目標(R9)	長期目標(R14)
9%	9%以上	10%以上

出典：公共交通モニタリング調査(金沢市実施)

※令和2年度、令和3年度にも同様の調査を実施していますが、コロナ禍で不要不急の外出が減少した結果、趣味、余暇活動等の移動(徒歩、自転車等)が特に減少し、公共交通分担率が上昇する状況にあることから特異値と判断し、基準となる現況を平成30年度としました。

## 6. 事業の効果

### (1) 利便増進事業の実施による効果

利便増進事業の実施による効果を整理する。

項目	事業の効果
北部6地区 地域運営交通 「チョイソコかなざわ」の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>西日本JRバスの路線減便・一部廃止及び北陸鉄道バスの路線一部廃止で生じた交通空白地域の解消、移動の選択肢の向上〔西日本JRバスの路線廃止及び北陸鉄道バスの路線廃止後の各地区の公共交通の状況〕</li> <li>湖南：1路線、薬師谷：2路線、三谷：0路線、花園：1路線、医王山：1路線、夕日寺：1路線</li> <li>地域内や近接する公共交通重要路線と接続する移動しやすい公共交通ネットワークの充実</li> <li>住民の外出機会を創出し、元気で健康な地域づくりを支援</li> </ul>

### (2) 第3次金沢交通戦略の目標に対する利便増進事業の位置づけ

北部6地区における地域運営交通の導入に関する利便増進事業の実施により、利用者の利便性等が向上し、以下の第3次金沢交通戦略に掲げる成果指標の達成にも寄与する。

#### ①公共交通の利用者数

目標値：コロナ禍前の利用者まで回復を目指す

現況(R3)	目標(R9)	長期目標(R14)
86,073人/日	123,000人/日以上	130,000人/日以上

出典：交通事業者提供データ及び金沢市保有データ

※市内を運行するJR北陸本線・IRいしかわ鉄道線・北陸鉄道線(市内の駅)、路線バス(北陸鉄道路線バス、城下まち金沢周遊バス、西日本JRバス)、ふらっとバス、地域運営交通の利用者数

#### ②市内の公共交通分担率(平日)

目標値：市全体の公共交通の分担率の上昇を目指す

現況(H30)	目標(R9)	長期目標(R14)
9%	9%以上	10%以上

出典：公共交通モニタリング調査(金沢市実施)

※令和2年度、令和3年度にも同様の調査を実施していますが、コロナ禍で不要不急の外出が減少した結果、趣味、余暇活動等の移動(徒歩、自転車等)が特に減少し、公共交通分担率が上昇する状況にあることから特異値と判断し、基準となる現況を平成30年度としました。